

チイサンウシノケグサ

Festuca ovina L. var. *chiisanensis* Ohwi

イネ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地がごくわずかで、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

葉身は柔らかくV字に折れ、向軸側に溝ができる(乾くと縁が巻き込んで断面は多角形になる)。護穎の先端の芒は1.5~2mm、葯は1mm前後。

国内分布

本州(長野県上松、白山)、四国(剣山)。

県内分布

白山高地区。三ノ峰(福井県境付近)にごくわずかに分布するのみ。

生態など

多年草。

生育環境

亜高山帯の風衝地の岩隙に生育。

危険要因

産地局限。

特記事項

旧版のいしかわレッドデータブック(植物編)2000ではタカネウシノケグサの一型として扱ったが、福井県(三ノ峰)のチイサンウシノケグサの記録が、その命名者である大井次三郎氏の標本同定によるものであることから、これと同一の個体群と考え、今回は名称を改めた。タイプ産地は韓国の智異山で、原記載では稈の上部に軟毛があることになっているが、白山の個体群ではほとんど平滑で無毛であるなど、検討の余地が残されている。なお、本来のタカネウシノケグサ(var. *tateyamensis*)は、中部山岳の高山帯の風衝砂礫地にあり、これと同じものは白山にはみられない。

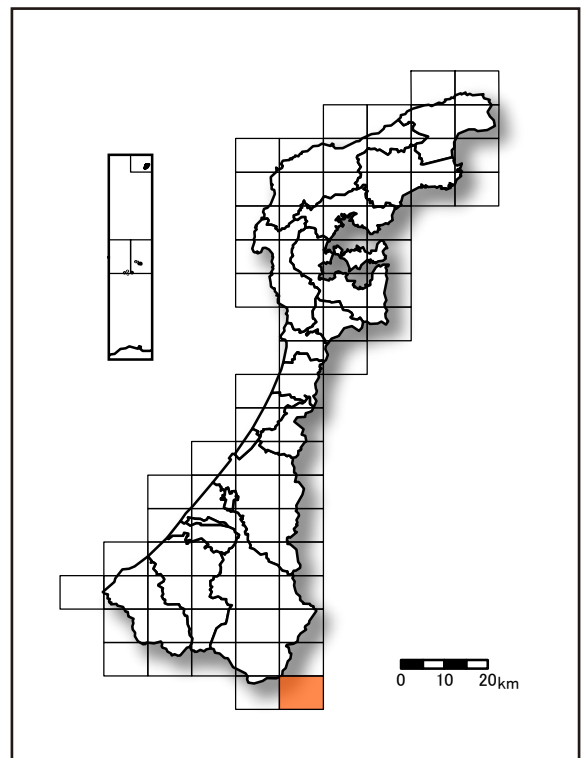
大井次三郎.1941.日本の禾本科植物 第一. 植物分類地理 Vol.10:95-135.

大井次三郎.1953.日本植物誌

大井次三郎(北川政夫改訂).1983.新日本植物誌顕花編.

渡辺定路.2003.改訂増補 福井県植物誌. 福井新聞社.

写真(図)はありません。



県内の分布